

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		社会福祉法人燦燦会 さぼーとハウス和音				公表日	令和7年3月21日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	7		多機能型で、異年齢の子ども達が来ているのは良さでもあるが、重心の子たちがゆっくり過ごせるように工夫が必要。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	0	8		子ども5人に対して職員1名での支援ではあるが、子どもの状態によって。1対1での関わりが必要。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0		してはいるが不十分	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	0	8		感染疑いの利用児に対応する部屋が必要	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	保護者から直接、依頼や意向を聞いた時には出来るだけ早く対応するように心がけている。	ご意見・ご要望のポストの設置はしているが、保護者からの意見は投函されないで、保護者の意見を尊重できるように、独自でアンケートなど実施すべき	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0		職員が自分の意見を言いやすいような環境作りの設置に心がけていかなければいけない。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0		保護者のニーズだけでなく、子どものニーズが本当に反映されているか考えていくべき。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0		継続的な振り返りは必要。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	2	色んな活動を、職員が考えることで、遊びの幅を広くできている		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	0	8		長期休暇などは、あわただしく、ばたばたしてしまう
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	0	8	次の日などに話したり、必要な際には、引継ぎのノートを活用して、全体への引継ぎを行っている。	職員の勤務形態や、送迎でその日あったことを話す時間が無い
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	保育所等訪問などで情報共有したり、送迎の際に行っている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0		電話連絡にて対応させていただいているが、学校から連絡がくることもあるので、できるだけこちらから連絡をして確認していきたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	5		利用していた保育所や幼稚園などと、卒園後に情報共有ができていないので、利用児の状況や今までのことなど保護者に聞くとともに、保育所などにも聞いていきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	0	同じ敷地内にセンターがあるので、助言などをもらいやすい環境にある。実際にも、助言をいただいている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	4		地域の高齢者との関りはあるが、子どもとの機会があまりないので積極的にやっていく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	0	毎回参加できている	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	お迎えや送迎の際で保護者と接するとき、今日の状況をお伝えするようにしている。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	必要に応じて担当者会議や相談を聞いている。	年に1回は保護者面談を行っているが、送迎時など保護者との関りがあるときに、少しでも真の状況を聞くなどして、日ごろからの信頼関係を作っていく。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	保護者会の活動は積極的に行われている。	もっと交流会などに積極的に参加する。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	すぐに対応できるように心がけている。対応できない場合は管理者に連絡、相談を行っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0		もっとSNSを活用していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	しっかりとできている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	絵カードの提示などを行っている。	利用児1人1人に対して、良いものを考えて配慮していく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	避難訓練の実施や、消防士が来ての消火訓練や警察署の交通安全教室などの実施などの依頼・実施を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	看護師を中心として、必要な際には直接保護者への質問などを行っている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	7		指示書の提出を義務化していない
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	虐待防止の報告研修などを毎年行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	説明を行っている。		